



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 (株) 東京放送ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	269,331	△2.0	11,559	△27.5	20,193	△22.9	12,371	△28.9
2019年3月期第3四半期	274,911	1.2	15,943	△14.3	26,191	△3.2	17,400	△2.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 80,677百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △29,601百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	70.98	—
2019年3月期第3四半期	99.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	894,958	672,673	73.6
2019年3月期	798,481	601,291	73.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 658,778百万円 2019年3月期 584,614百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00
2020年3月期	—	13.00	—		
2020年3月期（予想）				17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年2月6日）公表いたしました「特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,100	△1.7	11,700	△37.0	21,200	△26.5	32,000	27.0	183.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	174,709,837株	2019年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	538,356株	2019年3月期	43,205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	174,298,833株	2019年3月期3Q	174,667,744株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(株)TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、通商問題を巡る緊張など海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響など依然として不透明な状況が続いています。

こうした環境下、テレビ広告市況はスポット広告費の関東地区投下量が前年同期比93.1%と大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、関東地区投下量が低調に推移したスポット収入の減収、タイム収入や無料動画配信収入の反動減、および催事・興行の反動減などにより、2,693億3千1百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、前年の大型スポーツ単発に係る制作費や放送権料の反動減などにより、2,577億7千2百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

この結果、営業利益は115億5千9百万円（前年同期比27.5%減）となりました。また、経常利益201億9千3百万円（同22.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年の投資有価証券売却益の反動などにより123億7千1百万円（同28.9%減）となりました。

当社は2019年5月14日開催の取締役会において、セグメント区分を変更することを決議いたしました。

前連結会計年度において「放送事業」、「映像・文化事業」、「不動産事業」としていたものを、第1四半期連結会計期間より「メディア・コンテンツ事業」、「ライフスタイル事業」、「不動産・その他事業」に変更いたしました。

報告セグメントの業績の状況は以下の通りであります。なお、前第3四半期連結累計期間の数値については変更後の区分により作成したものを記載しております。

	売上高			セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (%)	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (%)
メディア・コンテンツ事業	208,092	202,629	△2.6%	6,820	2,750	△59.7%
ライフスタイル事業	54,630	54,276	△0.6%	2,984	2,791	△6.5%
不動産・その他事業	12,189	12,425	1.9%	6,137	6,017	△1.9%
調整額	—	—	—	0	△0	—
合計	274,911	269,331	△2.0%	15,943	11,559	△27.5%

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,026億2千9百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は、27億5千万円（同59.7%減）となりました。

㈱TBSテレビのテレビ部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、32億3千1百万円減収の1,363億1千1百万円（前年同期比2.3%減）となりました。このうち、タイム収入が660億8千5百万円（同0.9%減）、スポット収入が588億6千7百万円（同4.8%減）、国内番販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入が80億2千万円（同0.8%減）となりました。タイム収入については、レギュラー番組が堅調に推移した他、「世界陸上2019 ドーハ」など単発セールが寄与しましたが、前年の「アジア大会2018 ジャカルタ」や「2018 FIFA ワールドカップ ロシア」の売上をカバーするには至りませんでした。スポットセールスについては、広告主の関東地区投下量が前年同期比6.9%減と低調に推移する中、5局シェアは19.5%と前年同期比で0.4ポイント増加したものの、前年を割り込む結果となりました。コンテンツ収入については、無料動画配信での前年のワールドカップ広告収入の反動もあり減収となりました。

㈱TBSテレビの事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、19億5千5百万円減収の190億8千9百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

催事・興行では、アジア初の360度シアターである「IHIステージアラウンド東京」での「BOUM! BOUM! BOUM! 香取慎吾NIPPON初個展」などが好調でしたが、前年の「髑髏城の七人」シリーズや「スターズ・オン・アイス2018」の反動減により減収となりました。映画事業は、9月公開の映画「かぐや様は告らせたい～天才たちの恋

愛頭脳戦〜」(出演:平野紫耀、橋本環奈ほか、監督:河合勇人)のヒットなどがありましたが、新作タイトル数が前年と比較して少なかったことなどから減収となりました。

メディアビジネス関連では、動画配信事業が堅調に推移した一方で、海外事業における中国を中心とするアジア地域への番販の苦戦などによる減収や、ライセンス事業における商品化の不調などにより減収となりました。

㈱BS-TBSの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、タイムレギュラーが伸長したことや、ショッピング番組が堅調に推移したことにより、4億6千5百万円増収の126億6千2百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

㈱TBSラジオの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、厳しいラジオ広告市況の中、1億6百万円減収の71億3千3百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

費用面において、前年の大型スポーツ単発に係る制作費や放送権料反動減などがありましたが、同セグメントにおける営業利益は40億7千万円減益となる27億5千万円(前年同期比59.7%減)となりました。

#### ◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は、542億7千6百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は27億9千1百万円(同6.5%減)となりました。

㈱スタイリングライフ・ホールディングスで中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」における化粧品の売上などは引き続き好調だったものの、「BCLカンパニー」における海外展開が苦戦したことや、化粧品事業の原価率の上昇などにより、減収・減益となりました。

#### ◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は124億2千5百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益60億1千7百万円(同1.9%減)となりました。

収入面では、赤坂Bizタワーが引き続き高い稼働を維持していることや、当社敷地に隣接するビル「ザ・ヘキサゴン」の収入が加わったことなどにより増収となりました。費用面においては、修繕費などが増加したことにより減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は8,949億5千8百万円で、前連結会計年度末に比べて964億7千7百万円の増加となりました。現金及び預金が有形固定資産の取得や法人税等の支払い等により129億3千万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が995億1千2百万円増加、建設仮勘定が72億7千3百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,222億8千5百万円で、前連結会計年度末に比べて250億9千5百万円の増加となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が307億1千8百万円増加、支払手形及び買掛金が78億6千8百万円増加した一方、未払法人税等が65億円減少、未払金が45億1千8百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は6,726億7千3百万円で、前連結会計年度末に比べて713億8千2百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き69億7千5百万円増加、その他有価証券評価差額金が674億9千1百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は73.6%、1株当たりの純資産は3,782円36銭となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年11月7日公表の予想を修正いたしました。詳細については、本日(2020年2月6日)公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,293	59,363
受取手形及び売掛金	42,942	43,972
有価証券	700	600
商品及び製品	8,832	8,928
番組及び仕掛品	5,985	8,731
原材料及び貯蔵品	722	748
前払費用	8,644	12,028
その他	4,222	6,538
貸倒引当金	△151	△82
流動資産合計	144,192	140,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,008	209,492
減価償却累計額	△115,140	△118,768
建物及び構築物 (純額)	92,867	90,723
機械装置及び運搬具	84,783	82,505
減価償却累計額	△73,152	△72,814
機械装置及び運搬具 (純額)	11,631	9,690
工具、器具及び備品	31,430	31,554
減価償却累計額	△28,777	△28,985
工具、器具及び備品 (純額)	2,652	2,568
土地	96,821	96,820
リース資産	4,159	3,967
減価償却累計額	△2,797	△2,841
リース資産 (純額)	1,362	1,126
建設仮勘定	1,096	8,369
有形固定資産合計	206,431	209,299
無形固定資産		
ソフトウェア	5,732	5,068
のれん	15,002	13,654
リース資産	17	7
その他	1,377	1,582
無形固定資産合計	22,128	20,313
投資その他の資産		
投資有価証券	411,453	510,965
長期貸付金	204	192
繰延税金資産	2,541	1,809
長期前払費用	245	226
その他	11,477	11,491
貸倒引当金	△192	△167
投資その他の資産合計	425,728	524,517
固定資産合計	654,289	754,131
資産合計	798,481	894,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,780	45,648
短期借入金	80	—
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
未払金	14,388	9,870
未払法人税等	7,894	1,393
未払消費税等	1,355	2,122
未払費用	2,059	2,000
賞与引当金	5,059	1,765
役員賞与引当金	126	58
その他の引当金	393	431
その他	9,760	10,985
流動負債合計	80,099	75,477
固定負債		
長期借入金	1,800	1,200
環境対策引当金	127	121
退職給付に係る負債	15,770	15,284
リース債務	433	387
繰延税金負債	83,268	113,986
その他	15,690	15,827
固定負債合計	117,090	146,807
負債合計	197,189	222,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	46,751	47,433
利益剰余金	281,372	288,347
自己株式	△57	△963
株主資本合計	383,053	389,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201,539	269,031
繰延ヘッジ損益	25	21
為替換算調整勘定	△2	△12
退職給付に係る調整累計額	△2	△67
その他の包括利益累計額合計	201,560	268,973
非支配株主持分	16,677	13,895
純資産合計	601,291	672,673
負債純資産合計	798,481	894,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	274,911	269,331
売上原価	187,334	187,074
売上総利益	87,577	82,257
販売費及び一般管理費	71,634	70,697
営業利益	15,943	11,559
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	10,041	8,350
その他	1,034	899
営業外収益合計	11,092	9,263
営業外費用		
支払利息	220	17
持分法による投資損失	230	187
固定資産除却損	106	108
その他	286	315
営業外費用合計	843	629
経常利益	26,191	20,193
特別利益		
投資有価証券売却益	1,583	289
特別利益合計	1,583	289
特別損失		
投資有価証券評価損	—	171
減損損失	95	134
組織再編関連費用	413	74
特別損失合計	509	380
税金等調整前四半期純利益	27,266	20,102
法人税、住民税及び事業税	7,536	5,249
法人税等調整額	1,172	1,593
法人税等合計	8,708	6,843
四半期純利益	18,557	13,259
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,157	887
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,400	12,371



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	18,557	13,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,268	67,496
繰延ヘッジ損益	101	△1
為替換算調整勘定	32	△9
退職給付に係る調整額	△13	△60
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△5
その他の包括利益合計	△48,159	67,418
四半期包括利益	△29,601	80,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,767	79,784
非支配株主に係る四半期包括利益	1,165	892

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	208,092	54,630	12,189	274,911	—	274,911
セグメント間の内部売上 高又は振替高	164	0	3,854	4,018	△4,018	—
計	208,256	54,630	16,043	278,930	△4,018	274,911
セグメント利益	6,820	2,984	6,137	15,942	0	15,943

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	202,629	54,276	12,425	269,331	—	269,331
セグメント間の内部売上 高又は振替高	126	2	3,922	4,052	△4,052	—
計	202,756	54,278	16,348	273,384	△4,052	269,331
セグメント利益	2,750	2,791	6,017	11,559	△0	11,559

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は2019年5月14日開催の取締役会において、セグメント区分を変更することを決議いたしました。

当社グループは「グループ中期経営計画2020」で発表しておりますとおり、「グループの構造を見直し、グループの力を結集」し、コンテンツ力の充実を図り、総合メディアの多様化に挑戦すべく、グループ再編を行ってまいりました。このグループ再編を受け、よりの確な意思決定を行うことを目的にセグメント区分を変更することといたしました。

前連結会計年度において「放送事業」、「映像・文化事業」、「不動産事業」としていたものを、第1四半期連結会計期間より「メディア・コンテンツ事業」、「ライフスタイル事業」、「不動産・その他事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2020年2月6日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、2020年2月6日に売却する予定です。これにより、2020年3月期第4四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日)において、投資有価証券売却益(特別利益)を計上いたします。

(1) 投資有価証券売却の理由

保有資産を戦略的投資の原資として活用するため

(2) 投資有価証券売却益の発生予定日

2020年2月6日

(3) 投資有価証券売却の内容

①売却資産の種類	当社保有の上場有価証券	1銘柄
②売却益(見込み)	約26,000百万円	

(4) 売却方法

売却日の終値で立会外取引にて売却予定

3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第3四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第3四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	比較		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	139,542	136,311	△3,231	△2.3	186,189
タイム	66,679	66,085	△594	△0.9	87,900
スポット	61,865	58,867	△2,998	△4.8	83,606
コンテンツ	8,088	8,020	△68	△0.8	10,829
その他	2,908	3,338	429	14.8	3,853
事業	21,044	19,089	△1,955	△9.3	28,231
不動産	2,224	2,235	11	0.5	2,959
合計	162,810	157,635	△5,174	△3.2	217,381